

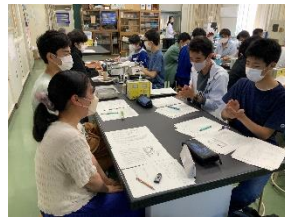
夏の集中講義（１年 SS 特講Ⅰ）

2022年7月26日（火）に1年生のSS特講Ⅰの選択者を対象に、夏の集中講義としてマイクロプラスチックに関する論文講読と大森浜の試料分析及びデータサイエンスに関する各講義・演習を行いました。

【マイクロプラスチックに関する論文講読と大森浜の試料分析】

まず、マイクロプラスチックに関する論文を講読しました。総説論文と原著論文の違い、どのように論文を読み進めていけば良いか、論文メモをどのように作成すれば効果的かなどについて講義と演習を往還しながら学ぶことができました。最終的には全員が2本の論文を読むことができました。生徒からは「今まで効率悪く論文をよんでいたけど、今回で内容の概要がつかめるようになったのでよかった」といった今後につなげていこうとする振り返りが多数提出されました。

その上で、先日のビーチコーミングで大森浜から採取した試料を、双眼実体顕微鏡や生物顕微鏡で観察しました。マイクロプラスチックが検出され、函館でも論文で学んだことと同様の事象が起きていることを、実感を持って知ることができました。



【データサイエンス入門】

データサイエンス入門としてExcelを用いてのグラフ処理や、t検定の手法などについて学びました。担当教員から「データ処理ができることではなくて、そのデータをどのように読み解くかが重要である」という説明を受け、2つのデータの相関関係などについて真剣に読み取る生徒の姿を数多く見ることができました。生徒からは「データによっては、示されている値が偶然出ているだけのものもあると分かり、驚きました。データを上手く活用し、それがどれだけ信用できるデータなのか理解できるようになっていきたいです。」といった振り返りがあり、今回の学びをきちんと言語化できているようでした。



今回の集中講義で、理論と実践の往還を何度も行い、探究の手法についての理解を深めることができました。次回は北海道大学臼尻水産実験所の巡検を予定しています。